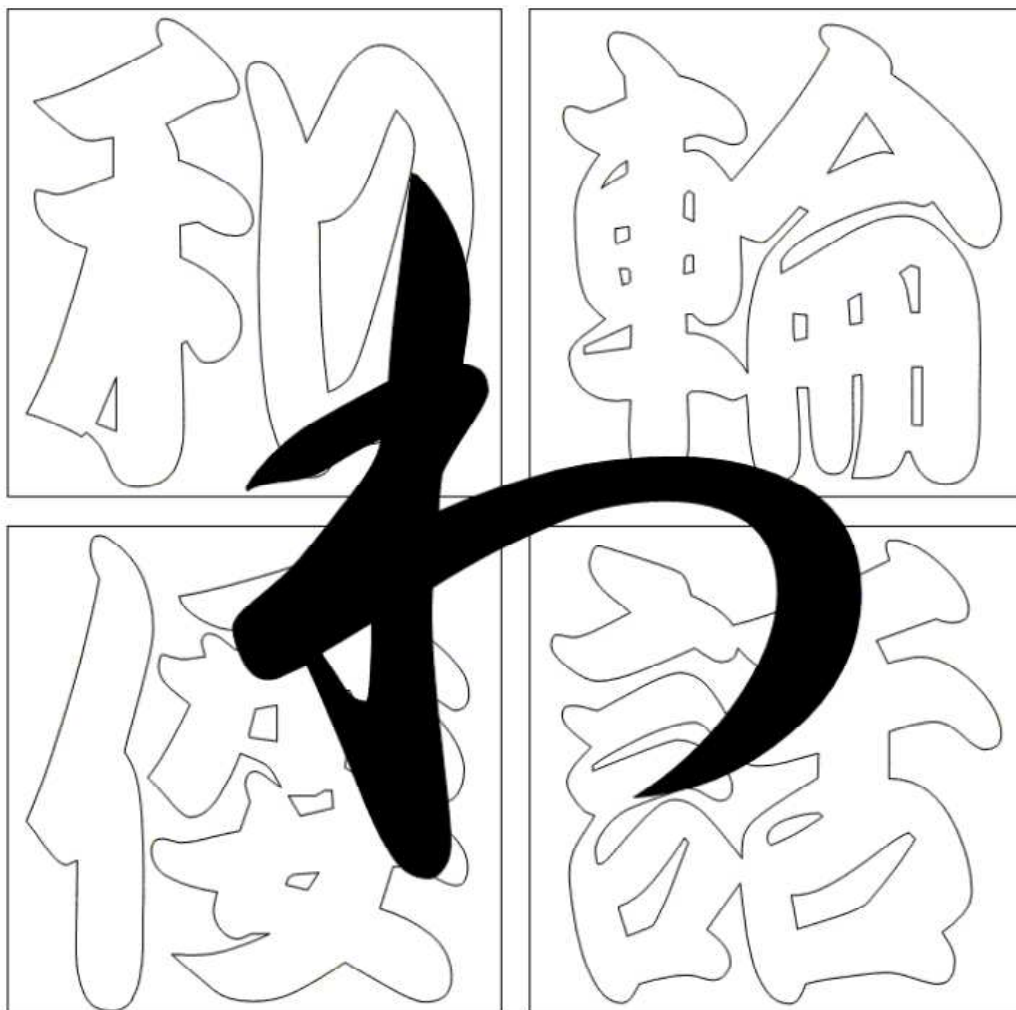


金沢区生涯学習“わ”の会

会 報 第 6 号

(2003年8月)



1945年、戦災で焼け出され、この地へ親と共に越してきた。裏山は、歴史的には塗桶山という。そこは通称お宮さんと子供たちが呼ぶ浅間神社がある。

「木花咲耶姫」を祭る。春には山桜の花、夏には蟬時雨、昆虫採取、秋には山栗、アケビ採りを楽しんだ。冬には六国峠に足を運び、遥か山腹から山頂に雪をいただく秀麗富士を遠望できる。

お宮さんからの眺めも亦、とても素晴らしく、遠く房総の山々、三浦半島の横須賀が望まれる。近くは湘南電鉄（現：京浜急行）の金沢文庫駅、瀬戸橋付近には葦の原や蓮田、宮川の流れが眼下に広がる。この景勝の地金沢を一望に出来る喜びを幼い頃より楽しんできた。能見堂跡地の筆捨松の由来も実感できる。

この金沢に50余年生活してきたが、実際、金澤については皆目知らないのが本音。金沢小学校時代に通った道筋にある神社を若干知るのみ。

今年初めて“わ”の会へ参加でき、皆様の知識や博学に脱帽するのみ。年齢を重ね、色々と記憶が薄れていくのを懸念する。

第1回学習会での田中啓一先生の講演内容は大変興味深く時間の経つのが忘れた。専門的知識の広さ、深さ、また、世界への洞察力など感銘した。

また第2回学習会の八柳サエ先生の「鏑木清方と金沢八景」についての話は、大正、昭和の金沢が別荘文化の栄華を享受したことを知らせてくれ、とても有意義であった。

特に通学の途中いつも見ていた山の上にあった游心庵（残念ながら現在その山も崩し造成中）。もし10年ほど早く生まれていれば、清方に会うことが出来たかもしれないと想像するのは楽しい。瀬戸神社前にある千代本楼を清方の愛した東屋と想像すると絵日記とも符合し、これもまた愉快だ。

ぜひ今後もこの景勝と歴史の町金沢を探訪し、知識を深めて行きたい。世話をさせていただく皆様のご苦勞に唯感謝するのみ。これからも宜しくお願いします。

## 鏑木清方と樋口一葉

青沼 博

「智相院釈妙葉信女 明治29年11月23日」これは樋口家墓所の墓石の3面に刻まれた12の法名と没年のうち、樋口一葉のものと思われるものである。絵心の全くない私が、第2回学習会「鏑木清方と金沢八景」の企画に参加し、八柳先生の著書を中心に勉強しているうちに、清方が大正時代を東京の「本郷竜岡町」に住んでいたこと、泉鏡花や樋口一葉の小説の挿絵を描いていたこと等を知った。

私は昭和9年から13年まで、本郷の東大正門前付近に住んでいた。近くに石川啄木が寄宿した旅館の跡とか、徳田秋声の旧居が在ることなどに全然関心が無く、東大の構内で、守衛さんの目を誤魔化して、遊びまわる子供の一人だった。ただ僅かに東大赤門前や菊坂に、一葉が住んでいたらしいことを聞き覚えて居た。菊坂は「一葉の井戸」で知られている処である。

学習会を契機に、俄然私の心の中に「本郷竜岡町と樋口一葉」への関心が高まり、学習会に先立つ5月22日、本郷三丁目を起点として「本郷歴史散策」を試みた。散策の中味に触れてみる。

三丁目～麟祥院（春日局の墓所）～湯島天神（湯島の白梅、鏡花の筆塚など）～旧岩崎邸（明治の広大な豪華洋館）～無縁坂（森鷗外の散歩道で知られるが、清方も散歩したであろう）以上が旧竜岡町の見処～東大竜岡門～東大構内～三四郎池～東大赤門（江戸時代の建造物）～一葉桜木の宿跡（4歳から9歳まで住む）～本妙寺跡（明暦の大火の火元）～菊富士のホテル跡～一葉旧居跡と井戸（18歳から21歳まで住む）～旧伊勢屋質店（一葉が通った店で建物は昔のまま）～以下省略。これまでもしばしば本郷を訪れているが、この散策は今までとはひと味もふた味も違うものとなった。

さて学習会が終わった後、何か満たされなく、物足りなく感じていた。それは一葉の墓が何処に在るかが分からないことであった。清方の作品に「一葉の墓」が有る。一葉の作品に出てくるヒロインが墓を抱き抱えるポーズをしている。彼女の終焉の地は菊坂の旧居とは500mも離れていないし、本郷にはお寺も多いから多分お墓は本郷に有るだろう位に考えていた。本郷三丁目に在る「文京ふるさと歴史館」なる便利な施設で調べるが解からない。その内に解かるだろう位に、のんびり構えていた6月の終り頃、テレビで一葉物語の番組を、見るとはなしに観ていると、なんとお墓が出て来たではないか。杉並区永福一丁目に在る「築地本願寺 和田堀廟所」がそれである。渋谷から出ている京王井の頭線「明大前」から徒歩10分、甲州街道に面し、明治大学和泉校舎に隣接している。

7月2日、廟所入口の花屋さんで墓所を教えてもらい、「樋口家」と刻まれた墓石の前に立つことが出来た。墓石は、ここの墓地としては小さい方だが、間口1.5米奥行き2米ぐらいはありそうだ。こじんまりした生垣が廻らされており、雑草も無くさっぱりしていた。墓石の左右と背面に刻まれている、計12の法名と没年を一つ一つ確かめ、向かって右側面の端に冒頭の文字を見付け、一葉のものだと確信した。

写真を撮らせてもらったりしているうちに、サラリーマン風の男性がお参りしていった。やっと見付けたこともあり、その場を去り難かったが、「一葉女史の墓」の絵を思い浮かべつつ墓前を離れた。これで心残りは解消した。

然し、然し、である。何故お墓が本郷ではなく築地本願寺にあるのだ。樋口家

は父親が事業に失敗し貧乏だったという。一葉という稼ぎ頭が亡き後は推して知るべし。縁者が頑張ったのか。

いや待てよ、これは要らざる詮索というものだろう。

自問自答の末、私の中での学習会はこれで名実ともに終了したのだと私なりに結論付けた。

## ★平成 15 年度 第 1 回・2 回学習会の主な感想（アンケート結果より）

第 1 回学習会「21 世紀の金沢」（講師 田中啓一氏）

出席者 78 名（78%）

- ・面白くて、興味深く、迫力あって引き込まれる講演でした。
- ・豊富な事例、具体的な数値を示し、視野を広げてくれた。
- ・新聞やテレビには無い視点が新鮮でした。
- ・都市環境や金沢区への辛口提言が欲しかった。

第 2 回学習会「鏑木清方と金沢八景」（講師 八柳サエ氏）

出席者 69 名（69%）

- ・清方の金沢への憧れや強い思いに驚きを感じた。
- ・人間像と描かれた絵画との関係が大変良く理解できた。
- ・金沢をこんなに愛した画家が居たことを知り嬉しく思う。
- ・清方を身近に感じたが、スライドが薄くて残念。
- ・あらためて鏑木清方美術展をじっくり観賞したいと思う講演でした。

## ★運営委員会よりお知らせ

第 5 回 学習会 探訪のお知らせ

運営委員 小俣 悦男

**9 月 27 日(土)は待望の探訪で～す。♪♪**

「金沢山から小柴を歩く」秋は行事が多く何かと忙しい季節ですが万障お繰り合わせのうえ、是非ご参加下さい。

史跡探訪の他に柴町内会宍倉会長から地元ならではの話をおきかせ頂き、また金澤園では斎田オーナーから金澤園にまつわる話などをして頂き、かつティータイムを楽しみます。

皆様から「なるほど！なるほど！そうだったのか・・・」と言って頂くよう、我々も勉強中です。

**充実した一日請け合いです。**お待ち致しております。

日時：9月27日(土) 午前9時集合 称名寺赤門前  
午後4時解散 金澤園 歩行距離 約5km

〈コース〉

北条実時の墓→金沢山→称名寺庭園→仁王門→海岸尼寺跡(大橋新太郎別荘跡)  
→柴漁港(昼食)→漁業記念碑→宝蔵院→熊野神社→金澤園(ティータイム) 解散

- ・小雨決行、ただし大雨の場合は10月4日(土)に延期。  
(その場合は朝7時迄に運営委員よりご連絡致します。)
- ・上り、下りの坂道あり、スニーカー・リュック等でお出かけ下さい。
- ・雨具・お弁当・飲み物等は各自で持参して下さい。
- ・金澤園でのお茶・菓子代500円(300円は会負担)、当日200円集めさせて頂きます。

**第6回 学習会 伊能忠敬、金沢を歩く** 運営委員 岡本 茂男

- ・日時：10月25日(土) 10:00~12:00
- ・場所：金沢地区センター
- ・講師：分科会 伊能忠敬研究会

伊能忠敬が、日本地図作製のおり、この金沢の地を測量していたことは、会報2号にてお話いたしました。来る第6回講座にて、いままでに調査した事柄を皆様にご報告する事になっております。

色々調べる中で、此処、地元には現在残されている資料が、殆どなく、満足なご報告が出来るのか心配いたしております。

そんな中、伊能忠敬より四十二年も前に「日本輿地路程全図」を完成している偉人がいたことが分かり驚いています。

その人は、長久保赤水(1717~1801)といい、茨城県高萩市の出身。日本ではじめて緯度線と経度線を地図上に用いた事で知られる儒者・地理学者です。水戸藩の侍講も勤め「大日本史」の編纂にも関わっています。

ただ、地図の精度の点では後に作成される伊能図に一步を譲る事になるようですがそれ以前にあった「日本絵図」の段階からは大きく進歩したものであった。これらのこともふまえて、実のあるご報告をしなければと鉢巻きをして頑張っているところです。

どうぞご期待下さい。

★各分科会の今年度の行事日程（下期） 各分科会より

	寺社を巡る会	古文書を読む会
9月	4日(木) 10:00 集合 JR 鎌倉駅東口 テーマ 鎌倉仏教について 行動 建長寺他を歩く	「亜米利加船渡来日記」読下文素読 武家文書～書簡の読下し
10月	2日(木) 10:00 集合 JR 北鎌倉駅 テーマ 時頼・時宗の跡を訪ねる 行動 円覚寺他を歩く	史跡探訪 地方文書読下し
11月	6日(木) 10:00 集合 JR 鎌倉駅東口 テーマ 中世の築港の跡を訪ねる 行動 和賀江島光明寺他を歩く	地方文書・寺社文書読下し
12月	4日(木) 10:00 集合 杉本寺バス停 テーマ 鎌倉の紅葉を訪ねる 行動 獅子舞の谷・瑞泉寺他を歩く	同上
代表 からの 一言	天下の名跡・名刹を学びながら寺社 を巡っています。 とても贅沢な気分です。	毎回、会員の熱心な学習意欲に支 られ、曲りなりにも、会を続けて来 ました。会員一人ひとりが交互 に先生と生徒にと、負担のない形 で、会を継続して行きたい。

<p><b>編集後記</b></p> <p>皆様のご協力により、会報第6号の発行が出来ました。多くの方々からの寄稿を厚く感謝します。</p> <p>聴きたい講演（内容と講師名）や歩きたい探訪箇所など、ご意見・ご希望を、編集部までお寄せ下さい。また、分科会活動の更なる充実をめざし、皆様方のご参加とご協力を切にお願いいたします。</p>	発行日	平成15年8月23日
	発行	金沢区生涯学習“わ”の会
	編集責任者	小岩 克介 〒236-0005 横浜市金沢区並木 3-3-2-103 Tel/Fax 045-783-0474